

環境調査結果のお知らせ

令和7年3月26日9時から野見湾の環境調査を実施しました。

概況

検鏡の結果、有害なプランクトンは確認されませんでした。

海や養殖魚、貝類の状態に不安や変化を感じた時は、良く洗ったペットボトルに海水を汲むなどして、水産試験場か中央漁業指導所まで連絡してください。

調査点 (透明度) 【調査時刻】	プランクトン	
	深度 (m)	珪藻
1 防波堤内側 (9.6m)	0	-
	2	-
	5	-
	10	-
	底層 12.5	-
A ガラク (12.5m)	0	-
	2	-
	5	-
	10	-
	底層 14.5	-
2 須崎木材工業団地 前 (4.7m)	0	-
	2	-
	5	-
	10	-
	底層 11	-
B 勢井 (8.8m)	0	-
	2	-
	5	-
	10	-
	底層 18.5	-
C 馬の背 (10.5m)	0	30
	2	23
	5	32
	10	33
	底層 21.5	-
D 大室戸 (10.5m)	0	-
	2	-
	5	-
	10	-
	底層 20	-
E 大谷漁港内 (6.8m)	0	-
	2	-
	5	-
	底層 7	-

調査点 (透明度) 【調査時刻】	プランクトン	
	深度 (m)	珪藻
F 湾奥ブイ (9.3m)	0	100
	2	100
	5	200
	10	260
	底層 17	-
3 タンポ (10m)	0	-
	2	-
	5	-
	10	-
	底層 10	-

参考：有害プランクトンの種類と注意及び警戒基準

有害プランクトン	被害	注意基準 (※1)	警戒基準 (※2)	主な赤潮発生時期 ※3		
				浦ノ内湾	野見湾	宿毛湾
<i>Karenia mikimotoi</i> (カレニア・ミキモトイ)	魚類等のへい死	100 cells/mL	1,000 cells/mL	5~8月	6~8月	—
<i>Chattonella</i> spp. (シャットネラ属)	魚類等のへい死	10 cells/mL	100 cells/mL	6~8月	—	—
<i>Cochlodinium polykrikoides</i> (コクロディニウム・ポリクリコイデス)	魚類等のへい死	10 cells/mL	100 cells/mL	—	2~4月	5~6月
<i>Heterosigma akashiwo</i> (ヘテロシグマ・アカシオ)	魚類等のへい死	5,000 cells/mL	50,000 cells/mL	3~12月	4~8月	4~11月
<i>Dictyocha</i> spp. (ディクチオカ属)	魚類等のへい死	—	5,000 cells/mL	6~7月	4月	—
<i>Takayama</i> spp. (タカヤマ属)	魚類等のへい死	—	10,000 cells/mL	8~9月	—	—
<i>Heterocapsa circularisquama</i> (ヘテロカプサ・サーキュラリスカーマ)	二枚貝のへい死	—	500 cells/mL	8~11月	—	—
<i>Alexandrium</i> spp. (アレキサンドリウム属)	二枚貝の毒化	10 cells/mL	100 cells/mL	—	1~4月	3~5月
<i>Gymnodinium catenatum</i> (ギムノディニウム・カテナータム)	二枚貝の毒化	—	1 cell/mL	—	—	2~7月

※1 注意基準：餌食いの悪化、警戒基準に達する恐れのある密度

※2 警戒基準：魚類及び二枚貝のへい死並びに二枚貝の毒化が想定される密度

※3 あくまで目安なので、水産試験場・漁業指導所の広報や養殖魚の状態に応じて、慎重な養殖管理をお願いします。



1: 防波堤内側

A: ガラク

2: 須崎木材工業団地前

B: 勢井

C: 馬の背

D: 大室戸

E: 大谷漁港内

F: 湾奥ブイ

3: タンボ